

サポート

No. 183

令和4年2月25日発行

県教育庁特別支援教育課指導班

事業紹介

障害者の生涯学習支援モデル事業

生涯学習課

障害者の生涯学習の推進 ～共に学び、生きる共生社会を目指して

県教育委員会では、学校卒業後の障害者の学びの場を拡充するため、社会福祉法人や障害者支援団体、大学等の高等教育機関との連携・協働のもと、障害当事者も参加した「地域連携コンソーシアム」を形成することで、持続可能な学びの実現を目指しています。

「障害者の生涯学習支援モデル事業」を通じた取組により、県内各地で、障害者が学校卒業後も学べる場所や学ぶ機会が広がってきています。今回は本事業における今年度の取組を紹介します。

1 地域連携コンソーシアム（事務局：県生涯学習課）

効果的な学習プログラムや関係機関との連携体制、役割等について協議

2 パイロット事業先

公民館や地域のイベントで特色ある講座等を開催

○能代市中央公民館（能代市）

- ・特別支援学校在学中からの社会教育施設の活用
- ・既存の公民館講座を担当する講師の活用

○潟上天王つくし苑（潟上市）※右上に写真

- ・高校生ボランティアの活用
- ・日常生活に関わる学びの機会の提供

○逢い障がい者支援事業所（由利本荘市）※右下に写真

- ・地域における障害福祉資源の活用とネットワークの構築
- ・一人一人の学習ニーズに応じた学びの機会の提供

○複合施設ばあとなあ（湯沢市）

- ・現代的課題を踏まえたテーマ設定
- ・障害の有無に関わらず参加できる地域のイベントの開催

3 秋田大学におけるモデル講座

障害者を対象としたモデル講座を開催（年10回）

- ・大学を会場に専門的な学びを提供
- ・学びの成果としての履修証明の発行を見据えた学習講座

4 秋田県生涯学習センターにおける調査・研究

市町村職員や公民館等職員を対象とした「障害者の生涯学習支援」についての研修

- ・障害者の生涯学習講座の企画・運営、情報発信についての研修の実施
- ・防災や障害者スポーツなど生涯学習講座の開催

（生涯学習課 社会教育・読書推進班 社会教育主事 長崎 雪子）



【うどん作り】



【市まちづくり宅配講座との連携】

高等学校における特別支援教育の充実に向けた事業を紹介します。

事業紹介

高校生学校生活サポート事業

高校教育課

本事業は、平成23年度から24年度にかけて特別支援教育課所管事業として実施した「県立高等学校学校生活サポートモデル事業」の後継事業であり、平成25年度から所管を高校教育課に移して今年度で9年目を迎えます。発達障害等のある生徒がより豊かな高校生活を送ることができるよう、学習サポーターを配置して学習や生活の支援を行うとともに、高等学校特別支援隊と連携し、教育専門監及び関係機関の指導助言を受けながら、校内外の研修及び就労支援等の取組の充実を図っています。

学習サポーターは今年度、県内3地区（県北・中央・県南）に各2校、各校1名の計6名を配置しており、国語、数学、英語等のいわゆる座学の授業はもとより、体育の実技や家庭の実習、情報のタイピング補助等、サポートの種類は多岐にわたります。

〈成果〉生徒の目線に合わせ、寄り添うきめ細やかなサポートにより、生徒はできることが少しずつ増え、自信を付け、自分でやろうとする意欲を持ちはじめています。学習サポーターによる地道な学習支援は、配置校における校内支援体制の充実に確実につながっています。

〈課題〉県内の高等学校全般にわたって特別な支援を必要とする生徒は増加傾向にあり、個に応じた対応の充実について求められています。

今後は、昨今の社会的要請等も考慮しつつ、本事業における取組の成果と課題を配置校以外の高等学校とも共有し、最新の知見を取り入れながら、支援を必要とする生徒に対するよりよいサポートにつながる効果的な協議会や研修の在り方について検討し、工夫を図りたいと考えています。

（高校教育課 指導班 指導主事 鈴木 亮）

事業紹介

高等学校特別支援隊

特別支援教育課

高等学校特別支援隊は、高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒に対する支援を組織的に行うため、平成25年度に特別支援学校に事務局を設置（県内3地区）し、スタートしました。特別支援学校や障害者就労支援機関、相談機関がチームを組んで支援を行っています。支援内容は、「校内支援体制の充実に向けた支援」、「生徒の学習や生活に関する支援」、「生徒の就労に関する支援」です。過去5年間で全県の約7割の高等学校から相談があり、ケース検討や研修などを行っています。

〈成果〉これまでの高等学校特別支援隊の活動を通して、支援を必要とする生徒への対応の必要性に対する理解が進んでいます。高等学校を会場として研修を実施し、高等学校教職員による指導・支援の実際等、より実践的な内容を取り上げている地区もあります。

〈課題〉就職に係る支援については、早期からの関係機関との連携が必要であり、卒業後の進路先に、生徒に必要な支援の内容や環境整備についての情報を適切に引き継ぐことが求められています。

今後も、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を目指し、高等学校と特別支援学校との連携を強化していきます。

（特別支援教育課 指導班 指導主事 近江 龍静）

おめでとうございます

第14回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等
文部科学大臣表彰 栗田支援学校

